

いわさきちひろ生誕 100 年
「Life 展」あそぶ plaplax

展覧会ボランティア募集！

——見て、触れて、体感して、“あそぶ”を通してちひろを再発見
アートユニット・plaplax が、いわさきちひろの新たな魅力を開きます！

安曇野ちひろ美術館では、いわさきちひろの生誕 100 年にあたる 2018 年、いわさきちひろと、さまざまな分野で活躍する作家が「Life」をテーマにコラボレートする展覧会を開催します。2018 年 3 月 1 日（木）～5 月 7 日（月）に開催する展覧会「Life 展」あそぶ plaplax では、展覧会の魅力を来館者に伝えるボランティアを募集します。来館者と作品を「つなぐ」楽しみ、来館者の「！」を引きだすよろこびを、一緒に味わってみませんか？

【展覧会概要】

展示名：いわさきちひろ生誕 100 年「Life 展」あそぶ plaplax

主催：ちひろ美術館、信濃毎日新聞社

特別協賛：株式会社ジャクエツ

協力：遊具設計 A+Sa(株) アラキ+ササキアーキテクト、音楽 高見澤淳子

会期：2018 年 3 月 1 日（木）～5 月 7 日（月）

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室 1・4・多目的ギャラリー

● 「Life 展」あそぶ plaplax

いわさきちひろは、生涯、子どもを描き続けた画家でした。いきいきと体を使ってあそんだり、自由な空想をふくらませてあそんだりする子どもたちの姿を、ちひろは数多く描きました。子どもは、あそびながら、さまざまなことを体験し、からだ全体で、この世界の物事を知っていきます。本展では、あらゆるメディアを使い、体験型の作品を展開し続けるアートユニット plaplax（プラブラックス）と、「あそぶ」をキーワードに、ちひろとコラボレートします。plaplax は、映像を駆使してちひろの絵のなかに入ってあそぶ作品や、ちひろの絵本を体で楽しむ“絵をみるための遊具”など、参加型の作品を展開します。見て、触れて、ちひろの世界をあそびながら体感する展覧会です。

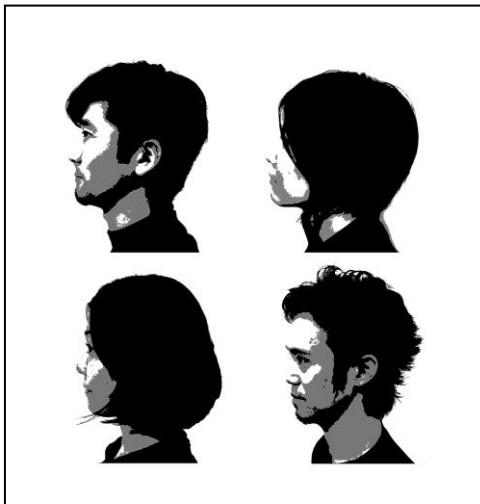
●いわさきちひろ (1918-1974)

福井県武生市(現・越前市)に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。1950年、紙芝居「お母さんの話」を出版、文部大臣賞受賞。同年、松本善明と結婚、翌年、長男猛を出産。1956年 小学館児童文化賞、1961年 産経児童出版文化賞、1973年 『ことりのくるひ』(至光社)でポローニャ国際児童図書展グラフィック賞を受賞。1974年 肝ガンのため死去。享年55歳。



いわさきちひろ 「このあしたん」1969年

●コラボレーション作家 plaplax (近森基+久納鏡子+寛康明+小原藍)



メディアアートユニット minim++ (ミニムプラプラ) として活動していた近森基、久納鏡子と、インタラクティブメディアの研究者、寛康明を中心に2004年に設立。主にインタラクティブアート分野における作品制作を手がける一方、公共空間、商業スペースやイベント等での空間演出や展示造形、映像コンテンツ制作、インタラクティブシステム開発、プロダクトデザイン、大学や企業との共同での技術開発など幅広く活動を展開する。Ars Electronica (オーストリア)、SIGGRAPH (アメリカ)、ポンピドゥセンター (フランス)、文化庁メディア芸術祭 (日本) など、国内外で数多く作品を発表。2008年からはアニメーションデザイナーの小原藍が参加し、NHK Eテレの「デザインあ」などの番組制作にも携わる。また、「Imaginature」をテーマにメディアアートの視点、手法で心象自然をスケッチする活動など、さらにその領域を広げている。

<http://www.plaplax.com/>

●展示内容

あそんで体感 ちひろの絵の魅力

見る人の影がスクリーンに投影された絵のなかに登場したり、動きにあわせて足元に色が広がったり。デジタル技術を駆使し、ちひろの絵のなかに入ってあそべる作品が展開されます。plaplaxが制作した驚きと楽しさにあふれる作品で、あそびながらちひろの絵の魅力を体感します。



plaplax 新作インスタレーション作品のイメージ

ちひろが子どもの心になりきって楽しみながら描いた絵本『ぼちのきたうみ』など3冊の絵本をテーマに、絵本とあそびが融合した「絵を見るための遊具」をplaplaxが制作します。のぞいたり、のぼったり、くぐったり、体をいっぱいに使ってちひろの絵本の世界観を楽しめます。



いわさきちひろ 海辺を走る少女と子犬 1973年



●ボランティア応募について

<ボランティア応募条件>

- ・大学生以上の方
- ・責任を持って活動に参加できる方
- ・この展覧会に興味を持って参加できる方
- ・来館者とのコミュニケーションを楽しめる方
- ・ちひろ美術館の活動全体についてご理解いただける方

<ボランティア内容>

- ・いわさきちひろ生誕100年「Life展」あそぶ plaplax 展覧会案内ボランティア
展示会場にて、来館者とコミュニケーションを取りながら、作品の楽しみ方を伝えていただきます。
- ・展示期間中、主に春休みや週末、祝日（ゴールデンウィーク含む）、平日の団体入館日を中心に
入っていただきます。
- ・シフトは半日交代を予定
- ・交通費は、距離により規定額を支給します。

<応募方法>

- ・履歴書（ボランティア歴があればそれも記入） 3月10日（土）必着
（履歴書は返却いたしませんのでご了承ください）
- ・選考の上、3月15日頃までに選考結果をご連絡します。
- ・研修日：3月25日（日） 安曇野ちひろ美術館にて **※研修参加は、必須。**
- ・履歴書送付先：
〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原 3358-24 安曇野ちひろ美術館 松澤宛